

(別添資料1)

事業所名

Rikki

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7年

12月

26日

法人（事業所）理念	施設名「Rikki」には、「力」という言葉を英語読みにし、親しみやすいように名づけてます。誰かの支えとなり、必要な方の”力”となれる存在でありたいという願いを込めています。私たちは、重度の障害や医療的ケアがあっても子ども一人ひとりが安心して、その子らしく過ごせる場所であることを大切にします。子どもや家族の思いや気持ちを丁寧に受け止め、そっと力になれる存在であり続けたいと考えています。				
支援方針	重度心身障害児・医療的ケア児の心身の状態や発達段階、家庭環境を踏まえて、看護師を中心とした多職種連携により、安全最優先とした支援を提供する				
営業時間	10時	0分	18時	0分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア(吸引・経管栄養)や健康観察を行い、体調の変化に対応した援助を行う ・排泄、食事、姿勢保持など、日常生活動作を一人ひとりに合わせて支援する ・安心できる環境の中で、生活リズムを整える支援を行う 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・体位変換や関節可動域を意識した関わりを行い、身体への負担軽減を図る ・室内外で音・光・触覚など五感に感覚刺激を取り入れ、その子にあった心地よい反応を引き出す ・自宅・学校・保育園などで継続しているリハビリやサイン施設内でも必要時専門職(PT, OT, ST)と連携して行えるようにする 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなく表情や健康状態からも丁寧に変化を読み取り、安心感をもって過ごせる関わりを行う ・日々の関わりの中で、一人ひとりの個性や特徴を理解し関わる ・環境設定を工夫し、日中の落ち着いて過ごせる時間を大切にする 			
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・表情、バイタルサイン、視線、声など非言語的コミュニケーションを大切にする ・職員が必要時一貫した関わりを行い、安心して意思表示できる環境を整える ・その子なりの伝え方を尊重し、本人の意思も大切にする 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・母子分離しやすい環境を整える ・集団生活のなかで他児や職員と無理のない関わりを支援する ・施設の中の環境だけでなく、イベントや外出で施設職員以外との関わる機会も作ることで社会性を身に着ける 			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時の様子を丁寧に共有していく ・医療、生活面、精神面に関する相談に応じ、必要時間連携関と連携する ・母子分離や就学に向けてサポートする 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・成長や環境の変化に応じて、次の支援につながるよう支援する ・未就学から就学に向けて、自宅や学校生活の変化にも柔軟に対応する 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係、保育園、療育園、相談支援と連携する 		職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援を振り返り、よりよい支援につなげる ・医療的ケアや安全管理に関する研修を継続する 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節感を感じてもらえる行事(クリスマス、ハロウィーン、お花見、スイカ割りなど) ・大きな行事以外にも日常の利用のなかに制作や外出など楽しめる内容を取り入れる 				